

News Release

NTT 西日本



西日本電信電話株式会社

(報道発表資料)

2023年3月23日

西日本電信電話株式会社 東海支店

次世代モビリティを活用した実証事業の結果報告と今後について ～岡崎市をフィールドとした実証事業への参画～

西日本電信電話株式会社東海支店（執行役員東海支店長：安部真弘 以下、NTT 西日本）は、スマートシティの取り組みの一環として、愛知県スマートシティモデル事業の採択を受けて、岡崎市における次世代パーソナルモビリティを用いた公共交通機関アクセス促進と付近の交通渋滞緩和にむけた実証事業（以下、本事業）を実施し、一定の成果を得ることができました。

記

1. 背景と目的

2019年6月、岡崎市とNTT 西日本はスマートシティ実現に向けた連携協定を締結し、人流データ等のまちのデータを活用した実証実験や実現性検証等を通じて、楽しい・快適・安全なウォークブルでスマートなまちの実現に向け、連携して取り組んでまいりました。

本事業に関しては、2022年3月の岡崎スマートコミュニティ推進協議会の年次総会において、市内組織横断で課題整理し事業アイデア招請を行った渋滞・交通・脱炭素・観光・都市再生などのテーマ毎課題の一つとして、2023年大河ドラマ館開館に伴う来街者の増加による混雑発生の懸念が岡崎市より提起されました。そうした経緯の中、本事業に繋がるアイデアを提示し、更に事業者間で融合した企画ブラッシュアップにより、本事業の成型に至りました。

本事業では大河ドラマ館へのアクセス促進・利便性向上と付近の交通渋滞緩和の打ち手として、東岡崎駅から大河ドラマ館への移動に、次世代パーソナルモビリティ「C⁺walk（シーウォーク）※」をご利用いただくことで、来街者および住民の移動の快適さや利便性について検証しました。

※ 「C⁺walk（シーウォーク）」はトヨタ自動車株式会社の商標登録商品です

2. 概要

次世代パーソナルモビリティ C⁺walk 5 台を活用し、東岡崎駅から大河ドラマ館の約 1.5 km の快適移動支援として、オンライン予約・決済、貸出、返却の実証を行いました。

- ・実施時期：2022 年 11 月 23 日（水・祝）～2023 年 2 月 12 日（日） 10:00～17:00
※上記期間における土日祝のみ、12 月 31 日（土）を除く
- ・実施場所
貸出：乙川左岸河川敷船着場（東岡崎舟着場）
返却：伊賀川左岸河川敷船着場（岡崎城の西側）
- ・貸出台数：5 台

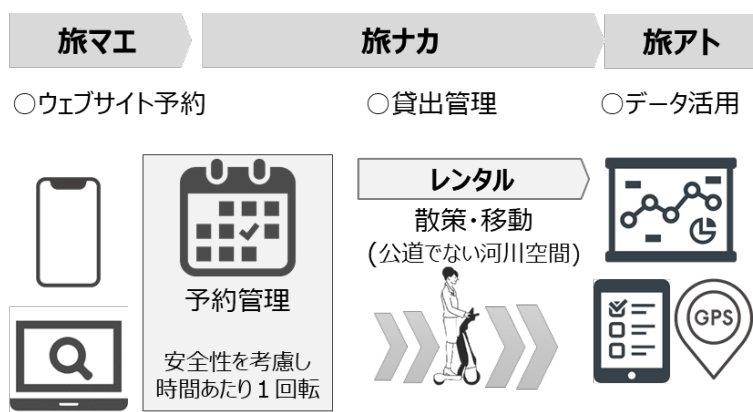


図1 本事業における C⁺walk およびデータ利用の流れ

3. 本事業における役割分担

- ・ 岡崎市：全体総括
- ・ NTT 西日本：事業構築、データ分析、効果測定
- ・ テルウェル西日本：事業統括、進捗管理、事業調整
- ・ ツツイエンターテイメント：現場管理

4. 得られた成果

快適さや利便性の観点では、全体を通じて 318 回の利用があり、約 95% の利用者から非日常感覚を味わえる次世代パーソナルモビリティとして高い評価を得られました。

混雑緩和の観点では、大河ドラマ館は、開設から 1 カ月で来館者数約 5 万人にのぼり、大きな賑わいが発生していますが、すいすい岡崎ナビサイト (<https://suisui-okazaki.jp/>) で配信しているリアルタイム混雑情報のデータ（図 2）を用いて、同程度の混雑状況であったイベント開催日と比較してみると、1 時間当たりの混雑アラート発出回数は同水準である一方、激しい混雑を検知した“混雑した”アラートの発出回数が減少しました。以上のように、岡崎市によって実施された混雑緩和に向けた施策の一つとして、大きな混雑の回避に繋がっているとの前向きな成果が得られました。

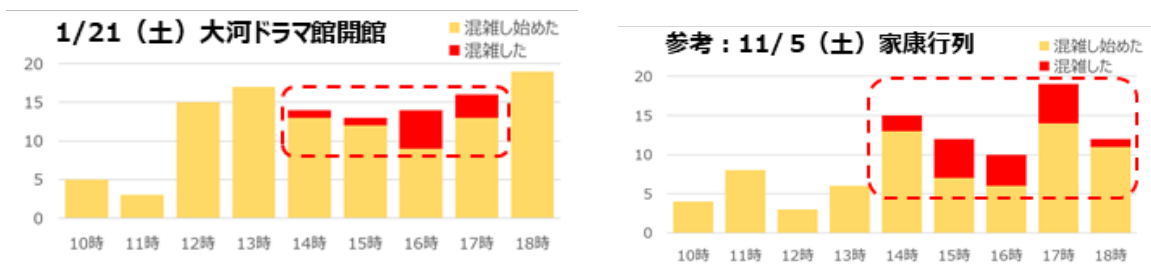


図2 すいすい岡崎ナビサイトによるリアルタイム混雑情報

5. 今後の展開について

今後は、2023年7月に改正道路交通法の施行による規制緩和に伴う動向も踏まえながら、将来的にはひとびとが最適な移動手段をスマートに選択できる未来に向けて、弊社としても、本事業のような次世代パーソナルモビリティの活用など、社会を支える多様なサービスの実装に向けてご支援・伴走してまいります。

以上